

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	実務演習 1	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数	300時間
単位数	10単位	授業形態	実習		
教科書/教材	授業配布資料				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	真田一穂、根本毅、櫻井良明、丸山尚子		実務経験の有無・職種	有・建築設計	
<b>学習目的</b>					
二級建築士の製図試験対策を通して、制限時間内に提出物を完成させた上で自己チェックができる能力を身に付ける。添削者の意見を聞き、自身の改善点を洗い出す。また、他者のエスキス図と自身の案を比較することで、良い点、改善すべき点を学び、問題文読解能力を身に付けることを学習目的とする。					
<b>到達目標</b>					
学んだ知識を活かして、自主的にトレーニングを行い、レベルを上げる。また、学習の到達度確認を自身で行うことができる能力を身に付ける。限られた時間で課題をクリアするための問題解決能力を身に付けることを到達目標とする。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	製図試験の取組み方法から、時間内に一式図を完成できるまで集中的に取り組む。毎回の授業で製図課題に取り組み、必ず完成させて教員の添削を受けることで、自己の達成度を当日中に把握する。				
注意点	問題文読解、エスキス図完成、一式図完成、自己チェック、という流れを建築士試験と同一時間で行うため、個人により完成時間が異なる。早期終了した場合は、教員の個別指導後、他学生の答案や講評を聞くことで更に理解を深めることを望む。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	60%	建築士製図試験対策に基づく課題への取組み、完成度等を評価する。		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する。		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス	製図試験概要を把握し、試験合格に必要なスキルを理解する。			
2回	平面図の作図（1）	平面図（基礎）の作図ポイントを身に付けることができる。			
3回	平面図の作図（2）	平面図（応用）の作図ポイントを身に付けることができる。			
4回	断面図の作図（1）	断面図の作図ポイントを身に付けることができる。			
5回	断面図の作図（2）	断面線、見えがかり線の書き分けができるようにすることができる。			
6回	立面図の作図（1）	立面図の作図ポイントを身に付けることができる。			
7回	立面図の作図（2）	例題を基に、立面図が指定時間内に完成できるためのポイントを理解する。			
8回	面積表、設計主旨等の理解	図面以外に必要な記入項目について理解する。			
9回	作図模擬（1）	エスキス案から平面図を完成させることができる。			
10回	作図模擬（2）	エスキス案から断面図を完成させることができる。			
11回	作図模擬（3）	エスキス案から立面図を完成させることができる。			
12回	作図模擬（4）	エスキス案から矩計図を完成させることができる。			
13回	エスキス課題（1）	エスキス案①を時間内に作成し、他者のエスキス課題をチェックできる。			
14回	エスキス課題（2）	他者のエスキス案のチェックを通して自らのエスキス案を修正することができる。			
15回	エスキス課題（3）	エスキスの取組み方について演習を通して学ぶことができる。			

授業計画（16回～30回）		
回	授業内容	各回の到達目標
16回	学内模擬試験	時間内完成の徹底、及び他者の案との比較を行い、自身の到達度を確認することができる。
17回	エスキス課題（4）	エスキス案②を時間内に作成し、他者のエスキス課題をチェックできる。
18回	エスキス課題（5）	他者のエスキス案のチェックを通して自らのエスキス案を修正することができる。
19回	エスキス課題（6）	エスキスの取り組み方について演習を通して学ぶことができる。
20回	外部模擬試験への参加	外部で開催されている模擬試験を受験し、雰囲気・課題レベル・他者の意見などを体感することができる。
21回	模擬形式 課題（1）	模擬試験①に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
22回	模擬形式 課題（2）	模擬試験②に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
23回	模擬形式 課題（3）	模擬試験③に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
24回	模擬形式 課題（4）	模擬試験④に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
25回	模擬形式 課題（5）	模擬試験⑤に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
26回	模擬形式 課題（6）	模擬試験⑥に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
27回	模擬形式 課題（7）	模擬試験⑦に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
28回	模擬形式 課題（8）	模擬試験⑧に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
29回	総まとめ	今までの課題を比較し、エスキス図を見比べて総復習を行い、試験前の総仕上げとすることができる。
30回	自己答案の復元	本試験のエスキスを復元し、自己の完成度を確認するとともに他者の案と比較することができる。